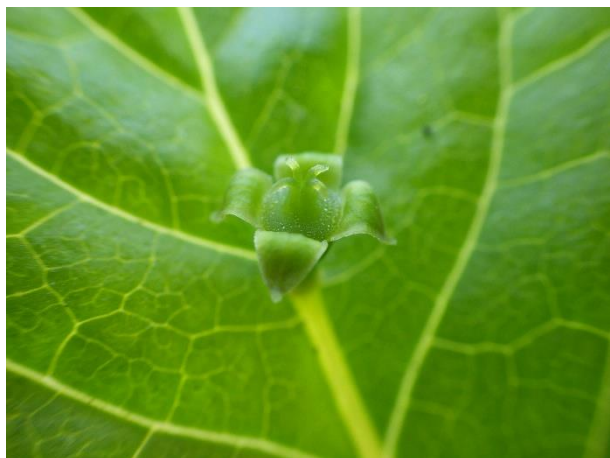


## 植物多様性センターの「ハナイカダの蜜」

奥多摩ゾーン落葉広葉樹林エリアに、雌雄異株のハナイカダが花を咲かせています。これまで学習園には、雄株しかなく雌花を見ることができませんでした。今年の2月、隣に雌株を移植したので、雌雄同時に観察することができるようになりました。初めて咲いた花の写真を、拡大してみてもびっくり。大汗をかいた人のおでこのように、雌花に蜜がびっしりと浸みだしていました。小さな緑色の花ですが、虫媒花であることがよくわかります。



雌花：葉の主脈の中ほどに、1～2個の花をつける



雄花：数個が1か所につき、3～4本の雄しべと退化雌しべをもつ



雌花：雌しべの花柱は3～4裂し、基部に大量の蜜を分泌する



雄花の退化雌しべの蜜を舐めるクオオアリ：頭が花粉まみれ